



矯正治療はいつから始めたらいいの？



乱ぐい歯が気になる方へ

■小学校低学年の子供さんなら最初の永久歯（第1大臼歯）が生え、前歯が生え変わってくる頃です。いろいろ歯並びの気になるところが出てくる時期でしょう。高学年になると悪いところをもっとはっきりしてきます。悪い歯並びにもいろいろあって、受け口、出っ歯、乱ぐい歯などがありますが、ここでは乱ぐい歯（叢生：そうせい）について少し詳しくお話ししましょう。

■乳歯の残っているうちは、永久歯に生え変わった時点で、できるだけ乱ぐい歯とならないようにする治療を行います。例えば、奥歯を奥に移動させ、前歯がきれいに並ぶスペースを作ってやります。また、奥歯が前のほうに倒れこむのを防ぐ装置を使ってもらったこともあります。このような治療を適切な時期に行い、将来ガタガタとなる量を減らしておけば、歯を抜かずに矯正治療を終えられる可能性を高めることができます。

■奥歯を奥に移動させる治療にしろ、奥歯が前のほうに倒れこむのを防ぐ治療にしろ、治療に適した時期は限られていて、時期を過ぎると適応できなくなります。小学校低学年～高学年ぐらいの時期に治療を開始しておく、将来的に抜歯せずに済む可能性を高めることができます。抜歯を最小限に抑える予防処置を行うことができます。

■このように、矯正治療には、成長期にしかできない治療があります。実際にすぐ治療を開始するかどうかは、精密検査の結果を見て判断します。あの時始めておけばよかった...ということにならないために、歯並びで気になるところがあれば、お気軽にご相談下さい。

山口歯科医院

ホームページ <http://www.geocities.jp/yamaguchishika/>

